

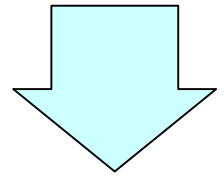
第4次 鞍手町行財政改革大綱フレーム（中間答申案）

第1章 行財政改革の必要性

【行財政改革の社会的要因】
 少子・高齢化、国際化、情報化、生活環境の変化、行政サービス内容の多様化
 地方分権の進展、三位一体の改革

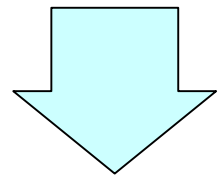
【鞍手町の現状】
 合併不調による課題
 歳出の増大
 歳入の減少

【行財政改革の必要性】
 危機を克服できる財政基盤
 質の高い行政運営と町民と行政の協働による住民自治
 地方分権時代に対応できる行政組織と人材
 効率的・効果的な行財政運営を推進する公共施設及び事務事業



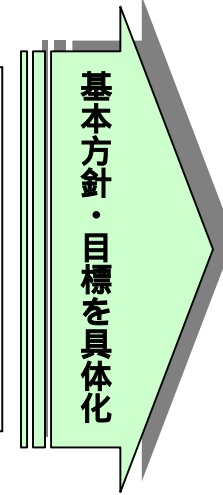
第2章 改革の基本方針及び目標

【行財政改革の基本方針・基本目標】
 行政経営の視点による危機を克服できる安定した財政基盤の確立
 透明性の高い効率的・効果的な行政運営と協働による住民自治の推進
 地方分権時代に柔軟に対応できる組織編成と人材育成の推進
 民間委託等を活用した公共施設の効率的・効果的な管理・運営の推進



第3章 実施計画と推進体制

【実施計画の計画期間】 平成17年度～平成21年度
【実施計画の見直し】 PDCAサイクルによる見直し
【推進体制】 推進本部と推進委員会の連携
【進捗状況の報告】 各年度終了後



第4章 改革の具体的方策

| 大分類 | 中分類 | 小分類 | 細分類 |
|---|------|---|--------------------|
| 行政経営の視点による 危機を克服できる安定 した財政基盤の確立 | 歳入 | <ul style="list-style-type: none"> 収納率の向上 公平、公正な受益者負担 財源の確保 | 実施計画 (具体的な改革項目) |
| | 歳出 | <ul style="list-style-type: none"> 各種補助金の見直し 人件費の見直し 公共事業等の見直し 経常経費、投資的経費の見直し | |
| 透明性の高い効率的・ 効果的な行政運営と協 働による住民自治の推 進 | 行政運営 | <ul style="list-style-type: none"> 事務事業の見直し 行政評価の定着 行政サービスの向上 | |
| | 協働 | <ul style="list-style-type: none"> 情報の公開と共有 住民参画の推進 住民と行政との協働 | |
| 地方分権時代に柔軟に 対応できる組織編成と 人材育成の推進 | 組織機構 | <ul style="list-style-type: none"> 柔軟な組織の編成 職員配置の適正化 附属機関の見直し | |
| | 職員 | <ul style="list-style-type: none"> 人材育成の推進 人事交流等の推進 | |
| 民間委託等を活用した 公共施設の効率的・効 果的な管理・運営の推 進 | 管理 | <ul style="list-style-type: none"> 施設の改善 施設管理の改善 | |
| | 運営 | <ul style="list-style-type: none"> 民間委託等の推進 統合、廃止及び用途の見直し | |

大綱により方針や目標として示される項目

実施計画により具体的に示される項目